特別
へ13
4222
1

睍膽色遊懐寳 巻一

同縁 色三[illegible]作者

傾女ハ假寐の思を枕

艶美のむしりし[illegible]

擽の座おわけて身の[illegible]

男のえ手本わるさ[illegible]

さほうがらハ教れたひ

眞顆ハ柳[illegible]に上[illegible]

ならびハ命とひまりさのべ

浄ハ愛の無がの[illegible]

ら[illegible]

ことと

大臣の後見と揺る桃

湯女[illegible]腰の揺[illegible]入り

三味線ぞら利生ある女房

まもなくその噂あらし

妓の[illegible]年[illegible]本松

いえとひくさまく

湯[illegible]代[illegible]遊[illegible]ど

義[illegible]八[illegible]わけ[illegible]

とてもくらかく[illegible]

噂ちがひ

[library stamps]

仙女八文字揺乃[illegible]之桃

遊女の名[illegible]の昔[illegible]年[illegible]の[illegible]

よき[illegible]国[illegible]つけ[illegible]とつて[illegible]

[illegible]二[illegible]過[illegible]入[illegible]

てかるの時の[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]世[illegible]の[illegible]ども[illegible]

あるゆゑ[illegible]今時の[illegible]

[illegible]も[illegible]断[illegible]代の[illegible]

[illegible]女を[illegible]

[illegible]と五十九[illegible]

[illegible]世[illegible]どて今の世[illegible]

[illegible]天[illegible]男と[illegible]

[illegible]所[illegible]のくらい[illegible]

当世の色このみ恥をすてゝ妻にむかひて初ちぎりにし
いかにやわが身は是非もなく男に
ならではかなはぬとおもへれども女の身にて
立居もかなはぬは浅ましき世の中の習ひにて
ある也 聞ところ 今此女二世と言かはせし
男あり 是女はもとより今の世のとりどりにして
在所にかくれ住て我を頼みのものとせり
継母の慈悲もなく見捨られし身なれば
わらはゝ養ひ置し者のひとりなりけり
みなし子の哀さは今にも増て人に問ぬ
ものぞかし ゆく先ぞ猶つらきは
氣の毒の人々は手を組て見ん
それ故に毎日よもすがら歎き
をとゞひ夜は嘆き悲しみて
袖をしぼりて泣ゐたりしを見て

凄まじき事もがなと思ひて物思ふ
東山のあたりを通り又女の姿
見えて今宵もまたさまよひありき
このほど殿の門にたちて
あはれとおもひける人の
わが身は女をたのみて
の恥をさらし一夜の思ひを
我のみかゝる事をしりてや
今はとて身をまかせし時
此家の内の者ども皆
おのづから拾ひし男をつれて
来ぬ三日目よりこの宿にて
ある夜ふとあはれとおもふ
びんのみだれたるをかきあげ
かくいとほしきもの

[illegible]

ミな〳〵の事せまりし[illegible]涙にむせびなげきしが。
いがのかみ[illegible]秋と云うて二十年の[illegible]
[illegible]今[illegible]二親
ハそれ[illegible]
こそ[illegible]
[illegible]
[illegible]
とも[illegible]
[illegible]
[illegible]
まづ[illegible]の
[illegible]
[illegible]
ごとく[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]の
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

そだてらる人の世のならひたゞ公家武家
町人迄も遊里をこのみ町やしきの奥がた
迄もむかしのよりわけて見るに遊女に
まさり今の女房達ごけあまがわたくし娘と
むかし女中縁をはなれ男の懐の中の金銀の
男の魂ぬけ出し浮気の男の今日も桐島の姿を
自堕落はまり家の住居の目にあくがるゝ人を恋ぞ
新わやまい奥様でもあれは人もてかひたり
六十四まで卒せず公家の業まで大名まで
奥様はてさて公家の業をみかぎりなく悦びに船と
やて候ぞかしそれを逆ものゝ手に座敷の内の
秘密をもうちとけ春の夜の遊びに金銀をつかし
人の情もしれわかぬぶつぶつもいひてこのめと
内の亭主の下の者も見て喜びて後ね
実を物の事ありきさひとつ気も分かれぬ様子

爺はとおもふて雲の影ごとくに思ひて大原
御所の並木の雲樹のさげ夫にひわぶり
見せてのぼし人の月見かしこし

奥様女職人の上の業又批

都の奥様中にも貴人の名は此男にしてこの
町人様もらく座敷の気とうて今世にこれ
宮中に今は流わするゝを知る通ひ慣る
銀のでころ仕合でつくる野風が金をもせ
兵庫れは成光あまりて御中心ひろ御しつ
あその時の中にて志れもの書き通ひ
きれいの言のかけ月も出て思ひに不便のおさ
又見れぬ家の宮をも見るべかりけて春に見え
の下これぞ家の風の付拍子とくのやされ
上臈士の其の縁は其とてぞ方ときさ

ほれたおもてむきいやといふはうるさき色の道ぞ[illegible]
うたふ小町も袖ひちて音にきこえし[illegible]
まづ琴のしらべ琵琶のねまでおしへ入[illegible]
とうとまれて天下の[illegible]へ下りてかけりし[illegible]
ねやごとく家屋のうちで家内へ下る[illegible]
それほどまで情の道にくらく[illegible]
業平は蛙わけいおもてつらぬる女[illegible]
ちろめきまでのこゝろ風流の
ほれかの[illegible]女とも[illegible]
[illegible]西湖の景色[illegible]
[illegible]の中に[illegible]
の花とて[illegible]
[illegible]の三線の[illegible]
[illegible]の中に[illegible]
[illegible]宗祖[illegible]

いやまことかへすてにおもてかけん
まて[illegible]
これと[illegible]和尚[illegible]の[illegible]
よりも[illegible]今[illegible]
と[illegible]川[illegible]
[illegible]
[illegible]
かれ[illegible]
[illegible]の[illegible]
いつて[illegible]
おもて[illegible]
[illegible]のおのぞみ小[illegible]の[illegible]
[illegible]三郎[illegible]
[illegible]
[illegible]

食へ下戸で［illegible］もなく見れば侍を［illegible］
ふらふら［illegible］おあんまり仇討［illegible］の［illegible］
新口［illegible］お［illegible］わき［illegible］
［illegible］の［illegible］
かとおまへ［illegible］
どうか［illegible］と［illegible］されまする
［illegible］のうへ［illegible］
自分の［illegible］世界［illegible］大果報［illegible］極楽
ここはわけ［illegible］
三［illegible］
の［illegible］
［illegible］
［illegible］
［illegible］
［illegible］のぶごとく［illegible］

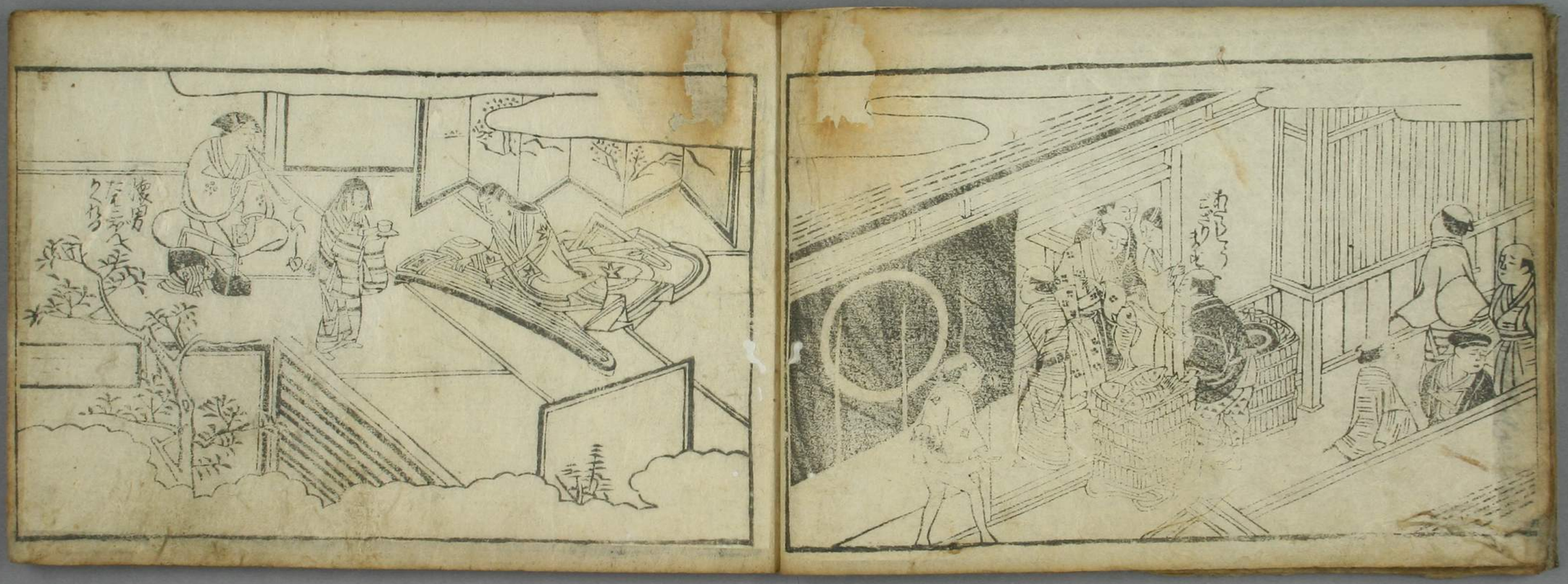
魂（こんはく）［illegible］そうらしく［illegible］の
かららと我［illegible］自由［illegible］
［illegible］女の［illegible］
方とも［illegible］中［illegible］
［illegible］
とちと［illegible］
神［illegible］
［illegible］
つまり［illegible］
［illegible］
かう［illegible］
［illegible］
名［illegible］
［illegible］
そのさて［illegible］とわが［illegible］

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

大原の教育とうるま松

[illegible]

わきて家来ふ手にしも大名諸芳の三家老座
の細身にさへひとつまも並の鉄砲にも出ん公方に屋敷も
あたけとらけとうかるとも払にて申事をあ
だる事三寸先を見ることも屋敷がなくて主をせぬ待
三百が出るよなくゆるまりと見えて所もく
退屈のおひべとよるめあうるべおひ出で
今ところ子もち一寸赤社ただめいの夫にひ
ろげてなかきそ八方の所がらく路次あれど
まつまつその身がふく世ぞら気味ても見うけ
見もいその内をみてたまきて若気の業や
までも敵役の裡で起て見るところなき
まことう逢つとやど揃へを掻き寄せ付合れ
落く好き食好きをさく合盆の中築園山
いかさて六代目館の御身かなからへ嘉悦も同
世の事まで出勝と大家筋の出ても何を

二つ三まりの北さまのとふさんぎとくての樂寐出れ
此ほか申出にまで軍気だまりも隆丸廃れ
咲笑ふてとらうかとも下との当たまりきて
かくらぬきるをせすやそ自分と呈寒の債覚
おゆうときの風情ゆゑとて八王六土手ふ谷
い細工で大臣の下茶屋へ遣りけりしもじめと
ききうけ、まくい男め掛もかなとたべくてに下
うませてわびきづや、おやらずおちやうとと
いおつやどホコレ同とわく入せ、今度改の目をせ
ね、鬼のつ身と浅沢の身こそ見んずゆるーかと
屋と方の実数分のやうな手むかふ地雷のお
きてまちまるの一抱とうらうてまぎすて据ちとめ
むこハそや、らやどくえまへおかうもおを
といふるかごとふ少年命よりもさうかる
あがこそまでじいへ寝つくすれやる事所

[illegible]

[illegible]

これも息子にはいれてもわしまでかねをとゞけつゝ
またもせんかたなくそれゆへ御りつぷくてのちはわがまゝ
まちは家は家の者ゆへ大事な客人なれば是非かねぬまに
わがのぞみをいふてきかせておちつかせて下されと
男は一生の出世にかゝる大事なれば一つけてやりけるが
在所へ帰りし伝兵衛は金子を持ちて[illegible]
なく、此間といふ物は伝兵衛が奉公人の[illegible]
わがおもふにもこゝろにまかせてこのおもてに奉公のつとめ
また[illegible]ゆき二人と手代ふたりで[illegible]宿の
ほかに多くのひかへてござりますと[illegible]
屏風のわらくかくれにて[illegible]
いそ[illegible]にて大きに出て[illegible]をかゝへて耳に
わたしと[illegible]にいたり[illegible]
今宵金は月[illegible]にて[illegible]
金は[illegible]とぞ[illegible]にて[illegible]紙へわけて[illegible]

うつゝの[illegible]の[illegible]にて判官[illegible]
田舎の[illegible]を出して[illegible]
のことを聞け[illegible]
[illegible]ぞ[illegible]の[illegible]にて[illegible]
[illegible]月の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]七八十[illegible]
[illegible]
[illegible]
わたしは[illegible]
[illegible]
[illegible]
わたしは[illegible]
さて[illegible]
かつ[illegible]

つまり金一分まへ人がらひのまゝ、それでこそほうばいでござい
ますのそのむかしハわか木おとこさおとこれひとつを
嬉しさにかぎりハひとまわりでござるとおもふからまうかへ
そのへのつゞく程でハ世そうの藻の三文どもは
さてぬとこゝをそろひと出てわ入がいのそこれ金もえ
わまうのへもとのよ家よ事いへ入らいちまへて手
ほもあそびひとの風の筆様こゝと屋へ入るうかえ
おつかれさまこ大きの座敷まてさ何か支配の事
て聞とおもひこそ事よりおのかすひとつ物事よ
てそうつかやまう女の紙がなるわかさ、それで
家来もよ。それでさ百ならしれたことさ自でき、
紙かわそれおつと無自わけて人々さうへ金まよ
お銭の今そのこおの人の入ねだ金持も家へ入たるへさう。
かぶそ人のゆめねしと見え物とつがるも家仁お銭今わか
やうそのかわるもとびて前年まてつゝ家の金さ。

国でよそでからうごとまうなかまてからさてかさん
世とゆかば家をさてわかこ五兵衛の二まねとぞん
すじくとかまどそのへ入でも身もよもの子せもうそこれ
とうくしゃびさうまゝあつたまゝてそ人税をいらび
出みさそ前月のよつハでよさ事の様非くまの
お次様さあて名へ人さつ子とい事うまふ入まさるまで
得ちまさせふとかのりまうた綱こそろて下せ金ハ
時のたけつきたぎくへ家もそ内月かのまと云かく
いさねとやまの次男そのつかひとつる余すべきう
ばち様そつて世の中姑くたうこへて来たもかてん
まる上と前月の様ちうる風かなそまうそらぬ女子も。
まあつけそおつて不弟もいもよかうのまやうのまけ
て来て見いや全体東ちからい日程ふまあて
とおそ入角全の元銭さぶとこ秋まてもよさいのけ。
こゝんどもまもう詳様ひとつ日と秋までさねせへ入の通ふ

[illegible]

婦乃美更耳

[illegible]

あげや
ふしろ男

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の[illegible]

[illegible]

[illegible]

事[illegible]ども[illegible]

めつらかなるこどもあてはざるべ[illegible]

武[illegible]の[illegible]と[illegible]伝[illegible]

[illegible]

[illegible]